

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	108	164	228	0
事業費計		(千円)	108	164	228	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.15		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,066	1,059		
事業コスト		(千円)	1,174	1,223		

R01年度当初積算根拠
 ・文化財保護審議会委員報酬 168,000円
 ・会議開催に伴う費用弁償 60,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	855 文化財調査事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課	教育局文化財課				
総合戦略					係名	保存係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費				事業分類	法定+任意				
要求区分			事業期間		市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	一部委託			
根拠法令	文化財保護法				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> 市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をするため。 					<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査 各種開発等に伴う試掘・確認調査、非営利目的での本発掘調査等 悉皆調査 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査 H26年度から5年計画で自然文化財調査1件実施 その他文化財の調査 必要に応じて各種調査を行う。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査は発生状況に左右されるが、月2件計24件実施と想定し実施して、開発等の円滑な推進を図る。 悉皆調査は現地調査の4年目で、桜川以東の筑波地区を対象に75件を目標に行う。その過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。 必要に応じて各種文化財調査を行う。 					<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査は、試掘・確認調査が27件、本発掘調査が2件の計29件だった。 悉皆調査は、桜川以東の筑波地区を対象とし、4月に区会へ実施通知を回覧、5、6月に調査した。調査件数は134件となり、3月に報告書としてまとめた。 開発に伴い、民間調査組織が実施した本発掘調査2件について同組織や事業者等との調整・協議を積極的に行った。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 開発事業と文化財保存との円滑な調整ができたことで、市民生活や経済活動に大きな支障を及ぼすことなく、文化財の保存ができ、調査成果が市の財産になった。 悉皆調査での件数増加は市民の関心を掘り起こした結果と考えられる。 					自然文化財の悉皆調査は、資料調査1年、現地調査4年の5年計画であったが、新たな発見により調査件数が増加したため、筑波山・宝篋山の調査が終了しなかった。					
改善目標（R01年度にむけて）										
自然文化財の悉皆調査を延長し、来年度に筑波山・宝篋山の現地調査を実施する。										
指標の推移										
1	指標名	調査件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	50.0	75.0	75.0	75.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	100.0	81.0	108.0	134.0	0.0	0.0		
	指標の概要	埋文調査数は開発等の発生状況に左右されるため、指標を設定できない。指標は、悉皆調査での調査件数としたが、27年度に追加調査が想定の2倍以上になったため、28～30年度は1.5倍とする。								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	2,666	2,707	3,290	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,876	4,151	4,548	0
事業費計		(千円)	6,542	6,858	7,838	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.90	1.30		
		時間外勤務 (時間)	650.00	550.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	8,037	10,541		
事業コスト		(千円)	14,579	17,399		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 5,477千円 ・指導謝礼 20千円 ・普通旅費 8千円 ・需用費 604千円 (消耗品費 118千円、燃料費 3千円、写真現像代 3千円、報告書印刷代 480千円) ・汲取手数料 10千円 ・委託料 707千円 (出土品等分析 107千円、天然記念物悉皆調査 600千円) ・使用料及び賃借料 (重機・調査機材) 945千円 ・埋戻し用原材料費 5千円 ・備品購入費 (刈払機) 62千円
	※歳入 国庫補助金 3,290千円 (埋蔵文化財発掘調査等事業・対象経費の1/2)

予算の方向性	理由	H31年2月に策定した「つくば市文化財保存活用計画」の事業区分との対比を明確にするため、2つの新規事業 (981各種文化財基本調査事業・982埋蔵文化財調査・保存事業) に分割する。
終了		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	17	16	16	0
	一般財源	(千円)	2,953	3,751	5,546	0
事業費計		(千円)	2,970	3,767	5,562	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.40		
		時間外勤務 (時間)	120.00	250.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,436	3,444		
事業コスト		(千円)	5,406	7,211		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・指導謝礼 100千円 ・旅費 122千円 (普通 12千円、特別旅費 110千円) ・需用費 319千円 (消耗品費 13千円、修繕料 300千円) ・委託料 3,850千円 (八幡塚古墳・日向遺跡草刈 1,407千円、金田官衙草刈 1,701千円ほか) ・賃借料 707千円 (日向廃寺跡土地) ・工事請負費 396千円 (文化財案内板) ・負担金 68千円 (全史協加盟負担金ほか) 					
	※歳入 行政財産使用料16千円					

予算の方向性	理由	植栽等維持管理委託料の大幅な増額が避けられないため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	857 民有文化財補助事業									
戦略プラン					担当部課 係名	教育局文化財課 活用係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-100503-13 文化財維持管理に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
						<input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例				事業体制	補助金（直接）				
					市長公約	73				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>市内に所在する国・県・市指定や国登録文化財を次世代に良好な状態で継承するための各種経費のうち、必要に応じた経費を補助することで、当該文化財を保護するため。</p>					<p>・指定・登録文化財の管理・修理について、所定の手続を行いながら、その経費の一部を予算の範囲内で補助する。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 5月 市指定無形民俗文化財の活動費補助申請を受け交付決定し、3月までに実績報告を得る。 国県市指定・登録文化財のき損等が発生した場合の修理費他の補助をする。 2年計画の2年目となる予定であった筑波山神社神橋の修理費補助は、早期に着工し、2年計画を短縮して年度内に完了できるよう、所有者・施工業者と協議して進める。 					<ul style="list-style-type: none"> 市指定民俗文化財2件に対して補助した。 国指定文化財1件の火災報知器点検に対して補助した。 県指定文化財筑波山神社神橋の修理費補助は、昨年度の入札不調により明許繰越をして期間を延長した影響から、3年計画とした。 5月に着手しH29年度分工事とH30年度分工事を年度内に完了した。 					
成果					課題					
<p>民有文化財について、適切な保存・維持管理・修理ができるように支援ができた。</p>					<p>筑波山神社神橋修理が3年計画となったことに伴い、令和元年度も引き続き補助事業として実施する必要性が生じた。</p>					
改善目標（R01年度にむけて）										
<p>筑波山神社神橋修理の工事内容や進行状況を綿密に把握し、文化財の価値を保ちつつ補助事業として適切な進行ができるよう指導する。</p>										
指標の推移										
1	指標名	指定文化財の維持活動費への補助件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
	実績	4.0	6.0	4.0	5.0	4.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	840	25,683	3,194	0
事業費計		(千円)	840	25,683	3,194	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.25		
		時間外勤務 (時間)	30.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,498	1,765		
事業コスト		(千円)	2,338	27,448		

R01年度当初積算根拠	・補助金 3,194千円 (指定文化財修繕 300千円、民俗文化財 240千円、大塚家住宅火災報知器点検 53千円、筑波山神社神橋修理 2,899千円)					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	各種文化財への補助事業のうち、平成31年度の筑波山神社神橋修理事業が縮小するため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	2,521	0	0
事業費計		(千円)	0	2,521	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.30		
		時間外勤務 (時間)	30.00	45.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,498	2,230		
事業コスト		(千円)	1,498	4,751		

R01年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	H30年度末で事業が完了するため。
終了		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	166	154	220	0
	一般財源	(千円)	3,198	349	466	0
事業費計		(千円)	3,364	503	686	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	1,422	1,412		
事業コスト		(千円)	4,786	1,915		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 5千円 ・需用費 511千円 (消耗品費 8千円、プリント代 2千円、市史資料集印刷製本費 501千円) ・委託料 70千円 (重要資料撮影委託) ・備品購入費 100千円 (市関連歴史資料) 					
	※歳入 町村史売上料 220千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	860 小田城跡保存事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課	教育局文化財課				
総合戦略					係名	保存係・活用係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画					事業体制	一部委託			
根拠法令	文化財保護法				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>中世常陸の一大中心地だった、国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備するため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了し、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収する。 復元整備は、H21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施し、合わせて展示機能を持つ案内所を建設する。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 土地公有化について、今年度は当初予算で計上していないが可能であれば候補地のうち1筆程度を補正予算として計上して実施することを検討する。 次年度以降の公有化の準備をする。 					<ul style="list-style-type: none"> 以前から公有化の協議をしてきた遺構復元広場の隣接地等2件（3筆）について、今年度になって所有者の承諾が得られたため、9月交付の国庫補助、9月補正予算を要求し、事業を実施した。 土地の公有化、工作物の移転補償は3月中に完了した。 					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> 小田城跡歴史ひろば遺構復元広場隣接地や、土塁跡用地を購入できたことで、史跡小田城跡の保存を行うことができたとともに、今後の活用用地となる。 										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	整備工事の進捗率（H28まで）					（ % ）		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	80.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	80.0	98.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	土地買収面積（H29以降）					（ m ² ）		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	870.0	750.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	992.0	748.0	0.0	0.0		

	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積						
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	15,839	27,176	24,307	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	5,487	0	0
	一般財源	(千円)	4,411	1,314	6,663	0
事業費計		(千円)	20,250	33,977	30,970	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.15		
		時間外勤務 (時間)	85.00	60.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,281	1,208		
事業コスト		(千円)	21,531	35,185		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 7千円 ・需用費 20千円 (収入印紙 20千円) ・役務費 832千円 (土地鑑定 454千円、補償鑑定 378千円) ・委託料 1,113千円 (土地境界測量委託) ・公有財産購入費 28,500千円 (保存用地購入 2,126㎡) ・補償金 498千円 (井戸ほか工作物) 					
	※歳入 国庫補助金 24,307千円 (史跡等買上げ事業・対象経費の80%)					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	195	195	364	0
事業費計		(千円)	195	195	364	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.05		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	711	353		
事業コスト		(千円)	906	548		

R01年度当初積算根拠	・報償費 364千円 (委員謝礼)					
-------------	-------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	1 事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,589	1,788	1,825	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,900	2,250	2,033	0
事業費計		(千円)	3,489	4,038	3,858	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.45	0.60		
		時間外勤務 (時間)	320.00	173.50		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	4,007	4,666		
事業コスト		(千円)	7,496	8,704		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 2,174千円 (確認調査整理作業) ・需用費 607千円 (消耗品 110千円、印刷製本費 497千円) ・委託料 1,077千円 (出土品分析 136千円、保存処理 941千円) 					
	※歳入 国庫補助金 1,825千円 (埋蔵文化財発掘調査等事業・対象経費の1/2)					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	35	74	54	0
	一般財源	(千円)	38,348	103,693	54,512	0
事業費計		(千円)	38,383	103,767	54,566	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.70		
		時間外勤務 (時間)	150.00	265.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	3,933	5,598		
事業コスト		(千円)	42,316	109,365		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 5,019千円 (消耗品 303千円、光熱水費 3,358千円、修繕料 1,358千円) ・役務費 596千円 (通信運搬費 232千円、保険料 313千円他) ・委託料 48,553千円 (小田城植栽維持管理 32,232千円、平沢他植栽維持管理 8,522千円、平沢・桜案内清掃 3,151千円他) ・使用料及び賃借料 383千円 (平沢土地 149千円、複写機 234千円) ・負担金補助及び交付金 15千円 ※歳入 その他特財 54千円 (行政財産使用料 30千円、自販機他電気料 24千円) ※臨時職員賃金4,391千円は人事課令達

予算の方向性	理由	植栽等維持管理委託料の大幅な増額が避けられないため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	155,238	154,770	154,475	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	29,100	29,000	34,700	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,710	9,693	3,921	0
事業費計		(千円)	194,048	193,463	193,096	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.20		
		時間外勤務 (時間)	20.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,117	1,412		
事業コスト		(千円)	195,165	194,875		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役務費 44千円 (土地鑑定意見書) ・ 公有財産購入費 193,052千円 (保存用地購入 6,500.04㎡) 					
	※歳入 国庫補助金 154,475千円 (史跡等買上げ事業・対象経費の80%) 金田官衙遺跡用地取得事業債 34,700千円 (市負担分の90%)					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	3 他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	865 学校での伝統文化教育支援事業								
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課	教育局文化財課			
総合戦略					係名	保存係・活用係			
					新規・継続	継続			
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費				事業分類	任意的事務			
要求区分				事業期間	市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画									
根拠法令	文化財保護法、教育基本法、市教育振興基本計画、つくばスタイル科カリキュラム				事業体制	職員のみ			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
<p>「歴史・文化教育」は、「つくばスタイル科」の大きな柱の一つに挙げられ、教育基本法等でも重視されており、県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝えるため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> 出前講座・文化財施設見学説明 学校教諭対象の説明研修会の開催 つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供 				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> 出前講座・文化財施設見学説明 夏期に学校教諭対象の説明研修会の開催 つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供 					<ul style="list-style-type: none"> 市内外の小中学校への出前講座や展示施設での説明案内28回及び市内高校への講座2回を行った。 学校教諭対象の説明研修会は、8月に開催する予定で計画調整したが、当日台風のため、中止になってしまった。 パンフレット類は、市域歴史年表と文化財展示施設の学校向けパンフレットを15,000部増刷した。 夏休み期間中、文化財展示施設4館をちびっ子博士事業の対象施設としたほか、自由研究相談を開催した。 				
成果					課題				
<p>歴史資料や文化財に触れる機会を提供・支援することで、多くの児童・生徒達が、郷土に関心と愛着を持つ機会を増やすことができた。</p>					<p>学校教諭向けの説明研修会については、学校教諭が多忙であり、予備日を設けることが難しく、一度中止になるとその年度は開催できなくなる課題がある。また、筑波地区小中学校は、統合等で児童生徒数が増えたことで、施設の見学が困難になった。</p>				
改善目標（R01年度にむけて）									
<p>学校教諭向け説明会について、予備日を設定できるよう、調整を図る。バスでの展示施設見学が困難な大規模校に対し、出前講座の開催希望の有無を問合せすることで、ニーズに応えられるようにする。</p>									
指標の推移									
1	指標名	学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の件数 (件)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0	30.0	
	実績	27.0	30.0	27.0	34.0	30.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	学校教諭対象の説明研修会の開催件数 (件)						活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	
	実績	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	214	184	209	0
事業費計		(千円)	214	184	209	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.50		
		時間外勤務 (時間)	60.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,995	3,654		
事業コスト		(千円)	3,209	3,838		

R01年度当初積算根拠	・ 需用費 209千円 (児童・生徒用文化財パンフレット印刷製本費)					
-------------	------------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,000	1,000	2,162	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	136	159	116	0
	一般財源	(千円)	2,197	2,601	3,609	0
事業費計		(千円)	3,333	3,760	5,887	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.70		
		時間外勤務 (時間)	300.00	350.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	2,890	5,809		
事業コスト		(千円)	6,223	9,569		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金 1,760千円(資料作成補助等) ・報償費 181千円(講師謝礼 142千円、ボランティア謝礼 39千円) ・需用費 2,645千円(消耗品費 73千円、展示パンフレット等印刷 486千円、遺跡地図印刷1,859千円) ・役務費 175千円(郵便料 25千円、運搬等手数料 150千円) ・委託料 1,300千円(催事委託・平沢 650千円、小田 650千円) ・賃借料 35千円(展示品運搬用自動車賃借)
	※歳入 国庫補助金 2,162千円(埋蔵文化財活用事業・対象経費の1/2) 文化財講座受講料 116千円

予算の方向性	理由	展示解説資料として遺跡地図を刊行するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		